

あり。また、平成30年8月トリップアドバイザーにおける口コミランキングでの外国人人気スポットは①書写山円教寺(侍映画ロケ地)②姫路城(世界遺産)③阪神甲子園球場であった。

それから兵庫県のインバウンドの取組を紹介。摂津、播磨、但馬、丹波、淡路という個性豊かな五国からなっている多様な地域資源のアピールポイントは①城：国指定史跡の城跡は兵庫県内で22件、日本一を誇る。②日本遺産：全国最多の8件、歴史風土に根差した日本の文化・伝統③民族文化財等多様で奥深い伝統文化や芸能④豊富なグルメ：多彩な自然や文化を持つ兵庫はグルメも豊富。

最後に、ひょうごゴールデンルートの推進、WEBやSNSを活用した海外に向けた観光情報発信、海外拠点を活用するとともに、県内市町と関連団体と連携し、海外に向けたプロモーションを展開、外国人旅行者のニーズに応える環境整備、訪日教育旅行誘致・受け入れ、兵庫県国際交流協

会に専門員を配置などをすすめていくとのこと。国内向けの取組については、「あいたい兵庫」キャンペーン、兵庫県観光情報サイト「HYOGO! ナビ」、特産品の振興、「ひょうごふるさと館」の運営、「五つ星ひょうご」の選定・紹介、ゴールデンスポーツイヤーズ&大阪・関西万博など関西・兵庫・神戸を発信する好機、さらなる観光交流を促進するなど兵庫県の施策について詳しく紹介していただきました。



講演② 健康ルネサンス時代を迎えて — 神戸大学大学院教授 羅志偉

今日、日本における超少子高齢化が一段と進展し、今までの人口ピラミッド構造の逆転現象や、老々介護、認々介護などの特徴に加えて、新たな現象として、特に都市部における高齢化率が急激に増加するようになってきている。また、多くの政令都市も人口減少が始まり、神戸市の人口減少は昨年全国ワースト1位となっている。

日本のみならず、西洋諸国やシンガポール、韓国、中国などの国々も、社会の高齢化を迎えつつある。中国では、著しい経済発展に伴い、社会の高齢化も近年急速に進展し、中国の国家統計局が発表した「中華人民共和国 2016年国民経済と社会発展統計公報」によると、60歳以上の高齢者人口総数は2億3千万人を超え、中国国民全人口の16.7パーセント、日本国民の全人口の二倍弱となっており、これは、アジアにおける高齢者総数の約50パーセント、欧州の高齢者人口の総和、そして、世界の高齢者人口の5分の1に相当し、2050年には、さらに5億人に近づくと予想されている。

数千年にわたる中華文明の歴史で脈々と伝えられてきた儒教思想にある「養子防老」や「家の老人は宝である」などの伝統文化は、まさに歴史的大きな試練を迎える局面に差し掛かるようになってきている。近代社会づくりでの年金制度や、社会福祉と国民健康保険などの政策や法整備を手厚く施されてきた日本をはじめとする先進諸国でも、既存の健康システムでは対応できないことが想定されている。これに加えて、中国は、今日世界第二の経済大国として急成長してきたといっても、「未富先老」や「貧富格差」、沿海地域と内陸、



そして都市部と農村部との厳しい「地域格差」など数多くの深刻な問題を抱えており、また、生活レベルの改善によって今日平均寿命は大幅に伸びてきているが、何らかの疾患を有する高齢者のパーセントは高く、高齢者全体の健康状態は低いレベルに留まり、社会における医療と介護への負担は増大する一方となってきている。特に、70年代から30年あまり実施されてきた「1人っ子政策」などの影響により、今日多くの高齢者の家庭構成は、「4・2・1構成」、すなわち、夫婦2人で4人の高齢者と1人の子供を養育する必要がある家族となり、都市部や一部の農村では独居老人が増えつつある状況にある。

本講演では、社会高齢化に向けて、世界規模での健康ルネサンスを提唱する。具体的には、社会保障システムの再構築や歴史的な敬老文化の高揚を提唱するとともに、高齢社会に関する社会科学、経済学、法律、人口学、老化に関する科学研究など、全方位からの科学研究を展開し、そして高齢社会を強く意識した各種健康産業と健康サービスの開発と新たな市場開拓が必要であることを強調する。